

第4章 北区観光の基本戦略と施策の体系

1. 北区観光振興の基本戦略の設定

「定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上」を目指して、北区観光の経営力を高めるための5つの基本的な戦略(基本戦略)とその取り組み施策を設定します。

〔基本戦略1〕

公民連携の強化による観光の推進 — オール北区による北区の観光力を高める

- 1-1 北区観光の連携体制と推進機能を整える
- 1-2 北区観光の経営力を高める仕組みをつくる
- 1-3 北区観光を担う多様な人づくりを推進する
- 1-4 ユニバーサルな観光を推進する

〔基本戦略2〕

来訪者の受入れ環境が充実した観光の推進 — おもてなしある北区観光の環境を整える

- 2-1 北区観光の拠点をつくる
- 2-2 観光インフラの充実

〔基本戦略3〕

誘客力を高める観光の推進 — 北区ならではの観光コンテンツの充実

- 3-1 「北区」ならではの多様なテーマで地域の魅力を編集する
- 3-2 ターゲットを絞った観光コンテンツを創出する

〔基本戦略4〕

ネットワーク型の観光の推進 — 観光コンテンツをつなぎ、めぐる観光を促進する

- 4-1 区内の資源をつなぎ、回遊を促す
- 4-2 ゆかりのある地域と北区をつなぐ
- 4-3 産業と観光をつなぐ

〔基本戦略5〕

情報発信の強化による観光の推進 — 人の気を惹く北区観光の発信力を高める

- 5-1 訴求力のあるコンテンツの充実と効果的なプロモーションを推進する
- 5-2 北区観光の情報発信力を強化する

〔基本戦略1〕 公民連携の強化による観光の推進

— オール北区による北区の観光力を高める



戦略 1-1 北区観光の連携体制と推進機能を整える

施策① 公民連携・公公連携の強化

(一社)東京北区観光協会との密接な連携のもと、北区観光に関わる事業者や区民との連携・協力体制を強化するとともに、「北区観光振興懇談会」を継続的に開催します。

また、観光に関わるさまざまな取り組みにおいて、国や東京都、他の自治体と積極的に連携を図るとともに、区内の関係部局が横断的に連携して取り組む「公公連携」の強化を図ります。

《取り組み例》

- ・ 北区観光振興懇談会の継続開催
- ・ 東京北区渋沢栄一プロジェクトの継続展開
- ・ 北区近代化産業遺産の観光活用に関する連絡会議の実施
- ・ (仮称)芥川龍之介記念館開設に伴う観光利用の促進
- ・ 観光とシティプロモーションが一体的となった魅力発信
- ・ イベントを通じた都立公園や河川敷の活用の促進 など

施策② 区民の参加促進やファンコミュニティの醸成の仕組みづくり

北区観光を担う区民の観光に対する意識や理解を高め、観光事業の実践者として区民の参加を促進します。

北区の特徴的なイメージや観光資源を活かしたテーマなどを通して、北区観光を区内外から支えてくれるサポーターやファンを増やすとともに、北区で活躍できる環境づくりなどの仕組み構築を検討します。

《取り組み例》

- ・ 区民や事業者が共有できる情報のプラットフォームの仕組みづくり
- ・ しぶさわくを核としたファンコミュニティの醸成 など

戦略 1-2 北区観光の経営力を高める仕組みをつくる

施策① 渋沢栄一の経営理念を重ねた北区観光経営の展開

北区飛鳥山を時代の「始動」の拠点とした渋沢栄一は、現代社会においても示唆に富んだ経営理念を多く唱えられてきました。その渋沢栄一の経営への思考を北区観光に重ねた、経営力の高い観光を推進します。

具体的には、マーケティングに基づく「北区観光経営戦略」づくりを進めます。加えて、観光に関わる人・モノ・カネ・情報・ノウハウを集約し、特に、人づくりに力を入れることでシビックプライド※の醸成を図ります。

《取り組み例》

- ・マーケティングに基づく「北区観光経営戦略」づくりと展開
- ・観光に関わる人・モノ・カネ・情報・ノウハウ・危機管理などの集約
- ・人づくりにフォーカスした観光経営の展開 など

※「シビックプライド」は株式会社読売広告社の登録商標です。

施策② (一社)東京北区観光協会の事業推進力の強化への協力と役割分担

北区観光を先導的に牽引する中核的推進組織として、(一社)東京北区観光協会が中心となった連携体制の構築を図るとともに、連携する事業者や地域団体との役割分担を明確にすることで、北区観光の推進力を高めます。

また、(一社)東京北区観光協会等が核となり、北区観光を担う人材育成を進めます。

《取り組み例》

- ・(一社)東京北区観光協会等が中核となった多様な主体によるプラットフォームの形成とコーディネート
- ・観光の取り組みに関する相談の受入れ
- ・北区観光を担う人材育成のための「(仮称)北区観光アカデミー」の実施など

戦略 1-3 北区観光を担う多様な人づくりを推進する

施策① 北区観光を担う人材発掘と育成

多様な主体による北区観光を推進するため、区民や事業者などの観光に対する意識や理解を高めるとともに、(仮称)北区観光アカデミーなどを通して、区内外から北区観光に関わる人材の発掘・育成を進め、自主的に観光事業に携わる実践者を増やしていきます。

また、将来的な北区観光の担い手づくりとして、さらには定住促進にもつながる次世代へのふるさと教育として、子どもの観光教育を推進します。

《取り組み例》

- ・ 区民の観光事業への参加機会の創出
- ・ 子どもの観光教育プログラムの実施
- ・ 観光事業仲間づくりプロジェクト ((仮称)北区観光アカデミーなど) の実施 など



施策② 観光に関わる人材育成

北区の歴史や文化、産業などに精通し、来訪者を楽しませるおもてなしの心をもった観光ボランティアガイドの充実とスキルアップを進めます。

《取り組み例》

- ・ 観光ボランティアガイドの新規募集の促進
- ・ 観光ボランティアガイドへの研修とスキルアップ など



施策③ 観光推進サポーターの受入れ

区内外から北区観光の推進を支える人材を観光推進サポーターとして、連携・活躍できる仕組みづくりを進めます。

また、区内または近隣の教育機関などと連携したイベントなどにおいて、サポーターを受入れる環境や窓口などの体制づくりを検討します

《取り組み例》

- ・観光推進サポーターの獲得と受入れの仕組みづくりの推進
- ・近隣の教育機関などとの連携や協力の体制づくりの推進 など

施策④ 北区ファンの創出と獲得

北区の観光資源を活かした体験型プログラムや交流型プログラムのほか、SNSを活用した北区の魅力発信を実施し、北区ファンの創出と獲得をめざします。

また、アンケート調査によるニーズや満足度の把握や、テーマ型の情報発信の効果検証などを通して、さらなる北区ファンの獲得を図ります。

《取り組み例》

- ・体験型プログラム、交流型プログラムの実施
- ・観光ニーズや満足度に関するアンケート調査の実施
- ・SNSを活用した北区ならではの魅力発信と効果検証の実施
- ・しぶさわくんを活用したプロモーションの展開 など

戦略 1-4 ユニバーサルな観光を推進する

施策① アクセシブル・ツーリズム※の推進

障害者や高齢者などが安心して北区観光を楽しむことができるよう、区内の観光施設や観光拠点、宿泊施設、二次交通などにおいて、段差の解消やバリアフリー化などの環境整備の促進に加え、心のバリアフリーの取り組み(声かけなど)を推進します。

また、観光施設などにおいては、接客サービスの向上を図っていきます。

《取り組み例》

- ・公共空間におけるバリアフリー環境の充実
- ・観光施設や事業者、区民のアクセシブル・ツーリズム※への対応及び理解の向上 など

※アクセシブル・ツーリズム：障害者や高齢者等など、移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが外出や旅を楽しめることを目指す取り組み。

施策② 国際観光の推進

新型コロナウイルス感染症で激減した外国人観光客の需要も、ワクチンや経口薬などの開発、入国規制の緩和・解除の動きにより、今後回復されることが見込まれることから、その備えを整えながら北区における国際観光を推進します。

《取り組み例》

- ・外国人観光客に対応した環境整備
- ・外国人観光客への情報発信やコミュニケーションツールの充実
- ・外国人観光客向けの観光プログラムづくり など

〔基本戦略 2〕 来訪者の受入れ環境が充実した観光の推進 — おもてなしある北区観光の環境を整える



戦略 2-1 北区観光の拠点をつくる

施策① 駅周辺における観光拠点機能の充実

来訪者の玄関口となる主要交通結節拠点の駅周辺において、観光拠点としての機能充実を図ります。案内サインや観光案内所などの駅をハブとした回遊につながる観光拠点の機能の充実を進めます。

《取り組み例》

- ・ 駅からの回遊を促す観光案内機能の充実
- ・ 駅を核とした周辺の回遊促進 など



施策② 公園や水辺を活用した拠点性の向上

飛鳥山公園や浮間公園、音無親水公園、荒川岩淵関緑地バーベキュー場のほか、旧古河庭園など、北区の特徴の一つである公園や水辺を観光利用の拠点として環境や機能の向上を図ります。

飛鳥山公園においては、大河ドラマ館のレガシーを継承し、おみやげ館などの利用促進、イベントなどを通して集客を高めます。

水辺においては、多様な主体によるオープン化を通じてさらなる活用促進を図ります。

＜＜取り組み例＞＞

- ・飛鳥山公園や音無親水公園の観光利用の促進
- ・荒川岩淵関緑地バーベキュー場や荒川知水資料館を活用したオープン化の促進と集客事業の展開
- ・様々なイベントを通じた都立公園の活用促進 など

戦略 2-2 観光インフラの充実

施策① 来訪者が利用しやすい環境整備

来訪者の北区観光を印象づける観光拠点において、清潔なトイレやわかりやすい案内板、ストレスのない Wi-Fi など、おもてなしをもって来訪者を受け入れ、快適に楽しんでもらうための観光インフラとして、来訪者が利用しやすい環境の整備を進めます。

＜＜取り組み例＞＞

- ・トイレや案内板、Wi-Fi などの利用環境の充実 など

施策② 回遊を促す二次交通の充実

北区には JR 駅が 11 駅存在するほか地下鉄駅もありますが、区内広域に点在している観光拠点は、エリアによっては鉄道での移動や来訪がしづらい場所もあります。

駅周辺の拠点性の向上とあわせて、区内に点在する観光拠点への駅からの回遊を促すため、シェアサイクルを含めた二次交通の充実や情報発信などを推進します。

＜＜取り組み例＞＞

- ・バス事業者と連携した駅からの回遊ルートづくり
- ・シェアサイクルの周知と利用促進 など

施策③ わかりやすく効果的な情報発信の展開

区民や来訪者が北区観光の情報を一元的に収集することができるように、区や各種施設の WEB サイトの情報集約と一体的な発信の仕組みを検討します。

また、利用者のニーズに合った持ち歩きやすい観光マップの統一化など、見る人がわかりやすく効果的な情報発信につながるよう見直しや適切な運用を図ります。

《取り組み例》

- ・観光施設や活動団体による北区観光に関する WEB 情報の一元化
- ・観光マップなどの情報発信ツールの統一化やシリーズ化 など



施策④ 観光危機管理への対応

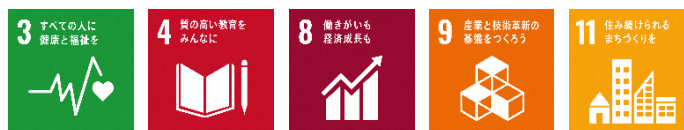
北区に訪れる観光客や将来的に需要回復が期待される外国人観光客を含め、来訪者が安全・安心して北区観光を楽しむことができるよう、災害時における観光客への危機管理体制の整備を図ります。

《取り組み例》

- ・災害情報の提供や災害時の観光客への対応や仕組みの検討
- ・外国人観光客向けの災害情報の多言語化への対応 など

〔基本戦略3〕 誘客力を高める観光の推進

— 北区ならではの観光コンテンツの充実



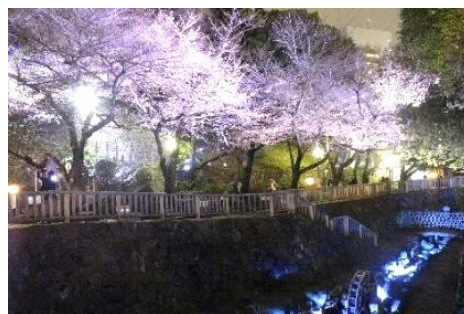
戦略3-1 「北区」ならではの多様なテーマで地域の魅力を編集する

施策① 五感と季節の変化を楽しめるプログラムづくり

北区は、江戸時代には桜の名所として名高く、季節や時間によって魅力が高まる資源が多く存在します。それらを組み込んだ体験メニューやモデルコース、ツアーの実施など、季節や時の変化を五感で楽しむことができるプログラムづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・五感で感じる観光モデルコースづくり（見る、聴く、嗅ぐ、触る、味わう北区）
- ・花火会の実施
- ・季節を感じることができるライトアップやイルミネーション など



施策② 水辺を楽しめるプログラムづくり

北区には、荒川と隅田川、石神井川、新河岸川の4つの河川が流れ、一年を通して楽しめる豊かな水辺が存在します。また、荒川の水辺にはバーベキュー場や荒川知水資料館、北区・子どもの水辺などがあり、憩いやアクティビティ、学びの要素も整っています。

これらの水辺の資源を活用し、水辺に親しむことで環境への理解や防災への意識を高めるとともに、水辺を楽しむモデルコースづくりやサイクリングコースづくり、さらには集客性の向上など、水辺の多様な楽しみ方を提供できるプログラムづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・水辺を通じた環境配慮及び防災への理解促進
- ・水辺のモデルコースづくり
- ・サイクリングコースづくり
- ・水辺空間を活用したアウトドアイベントの実施 など



施策③ 暮らしや文化・スポーツを楽しめるプログラムづくり

北区には、特徴的な地形や路地、地域行事・歳時など、地域の暮らしに根付いた資源、行事が多く存在しています。

特に、十条銀座商店街をはじめとした商店街は、地域の暮らしに密着した下町風情を感じられる場所になっています。また、かつて芥川龍之介などの文士が集まり形成された田端文士芸術家村をはじめ、現代にいたるまで多くの文士・芸術家はその活動と暮らしの拠点をしてきたことは、北区の文化の特徴といえます。

さらに、「トップアスリートのまち・北区」を掲げ、日本のトップアスリートが集う「ハイパフォーマンススポーツセンター」などの施設や北区ゆかりのアスリート、北区をホームタウンとする日テレ・東京ヴェルディベレーザと連携したスポーツイベントなどが展開されています。

国指定史跡である中里貝塚に代表される歴史的な文化史跡・遺跡も多く点在しています。

このような北区ならではの暮らしや文化・スポーツを楽しむことができるプログラムづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・商店街などの暮らしに密着した体験ツアーづくり
- ・田端文士芸術家村にまつわるハイソな暮らしを感じるプログラムづくり
- ・トップアスリートのまち・北区と関連したスポーツ施設・イベントとの連携
- ・中里貝塚に代表される文化史跡の観光活用の促進 など



施策④ 産業遺産を楽しめるプログラムづくり

北区には、我が国の産業の近代化を支えた施設が複数存在します。それら産業遺産にちなんだマップ作成やスタンプラリーなど、北区の産業遺産の歴史や技術について、楽しんで学ぶことができるプログラムづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・洋紙発祥の地といわれる王子をテーマにしたイベントの実施
- ・旧醸造試験所を活用したイベントや学びのプログラムの検討 など



施策⑤ 継続的な観光マーケティングによる新しいプログラムづくり

近代化産業遺産や水辺、公園、暮らし、文化などのテーマ以外にも、北区には、新たに観光テーマとなり得る資源が存在します。

北区内外の人々の多様な視点を楽しんで取り入れるため、SNSによる北区観光に関わる投稿分析などを進めます。

加えて、観光市場調査や他自治体の観光動向調査、観光客アンケート調査の実施など、継続的に観光マーケティングを行うことによって、常に新しいテーマによるプログラムづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・ SNSによる北区の観光資源の投稿の分析
- ・ 観光市場調査の実施
- ・ 観光客アンケート調査の実施 など

戦略 3-2 ターゲットを絞った観光コンテンツを創出する

施策① 戦略的な北区観光の推進

最終的な目標である定住人口を増やすため、「観光」と「プロモーション」を一体的に展開していく中で、重点を絞った北区観光を戦略的に推進していきます。

地域住民への近場観光の促進などのシティプロモーションの観点からすそ野を広げる取り組みの展開を行う一方で、北区ならではの特徴を活かしたキラークンテンツの開発と運用を展開するなど、メリハリのある戦略的な事業展開を進めます。

《取り組み例》

- ・ 地域住民に対する近場観光の促進
- ・ 外部にも発信力のある観光コンテンツづくり など



施策② 北区観光の特徴を活かしたターゲットごとの戦略的なコンテンツ開発

駅や商店街はイメージや魅せる顔にそれぞれ特徴があるように、区内の観光資源もターゲットによってさまざまな楽しみ方ができます。

観光コンテンツの開発においては、ターゲットに合わせた訴求効果の高いキラークンテンツとしての磨き上げや ICT の活用など戦略的に検討していきます。

《取り組み例》

- ・ 訴求効果の高いキラークンテンツの開発と磨き上げ
- ・ ICT を活用した観光コンテンツの開発
- ・ 新しいテクノロジーを取り入れたコンテンツ開発 など

施策③ 収益性の高い観光コンテンツづくり

質の高い観光コンテンツの開発と磨き上げにより収益性の観点から付加価値の高い観光コンテンツづくりを進め、北区観光の経営力を高めます。

《取り組み例》

- ・ 荒川河川敷等を活用した花火会や音楽フェスの実施
- ・ 飛鳥山公園を活用した渋沢ガーデンレストランの実施 など

〔基本戦略 4〕 ネットワーク型の観光の推進

— 観光コンテンツをつなぎ、めぐる観光を促進する



戦略 4-1 区内の資源をつなぎ、回遊を促す

施策① 駅や公園を核とした回遊の促進

駅や公園といった観光拠点を核として周辺の観光資源を回遊する観光ルートの開発や観光情報の提供、事業者と連携したイベントの実施など、駅や公園を拠点として歩いて楽しむことができる観光を促進します。

《取り組み例》

- ・ 駅を核とした観光ルートの開発
- ・ 駅からマップなどの観光情報の提供
- ・ 駅や公園と周辺の観光拠点、事業者と連携したイベントの実施
- ・ 公園と周辺の観光資源をテーマでつなぐ観光プログラムの創出
- ・ コミュニティバスの観光活用の展開 など

【参考】北区観光ボランティアガイドコース(※令和 4(2022)年時点)》

王子エリア：浮世絵に描かれた江戸名所の歴史探索

西ヶ原エリア：歴史と文化を求め日光御成道をゆく

浮間エリア：荒川と浮間史跡を巡る

豊島エリア：昔話あります豊島町今昔物語

石神井川エリア：江戸の溪谷美を歩く

平和エリア：石神井川沿いの軍事遺跡探訪

赤羽西エリア：稲付の自然と歴史探訪（健脚向き）

赤羽東エリア：江戸から昭和へタイムスリップする散歩道

田端エリア：文士・芸術家たちと歴史の町

渋沢栄一と北区：渋沢栄一の足跡を訪ねて



観光ボランティア
ガイド申込ページ

施策② 商店街と連携した観光の展開

赤羽一番街商店街や十条銀座商店街など、北区には特徴的な商店街が点在しています。赤羽馬鹿祭りなどの集客イベントや下町情緒を感じる景観づくりなどが特徴となっています。これら商店街と連携して、飲食店や物販店と協力しながら暮らしに密着した文化などが感じられる観光の取り組みを進めます。

《取り組み例》

- ・各商店街と連携した観光イベントの実施
- ・銭湯などの観光資源を活用した回遊の仕組みづくり
- ・近隣の教育機関と連携したにぎわい創出事業の運営 など

施策③ ウォーカブルな観光の推進

令和2(2020)年9月、都市再生特別措置法などの改正及び、「居心地がよく歩きたくなる」まちなかづくり支援制度が整備され、まちなかにおける交流・滞在空間の創出に向けた取り組みを進めていきます。

街路空間を人々が集い、憩い、さまざまなアクティビティを展開する場として活用し歩きたくなる北区観光を推進します。

《取り組み例》

- ・駅とまちをつなぐ歩行者ネットワークの拡充
- ・飛鳥山公園や音無緑地（音無遊歩道）との散策ネットワークの強化
- ・飛鳥山公園のアクセス性の向上と魅力強化
- ・音無親水公園の観光的利用の拡充 など

戦略 4-2 ゆかりのある地域と北区をつなぐ

施策① 近隣区の観光資源と連携した広域観光ルートの開発

北区周辺には、六義園（文京区）や巣鴨地藏通り商店街（豊島区）など、多くの来訪者が訪れる観光資源が存在します。例えば、区域を越えたマップの作成、イベントの実施など区域を越えた取り組みや、都電沿線 4 区で連携した取り組みなど、近隣区の資源との連携を図ることにより、より多くの観光客の獲得を図っていきます。

《取り組み例》

- ・ 区域を越えたマップの作成、イベントの実施
- ・ 都電沿線 4 区で連携したイベントの実施 など

施策② ゆかりのある地域との連携

北区とゆかりのある地域とさらなる連携強化を図り、積極的な観光情報の PR を行っていくことで、広域からの新たな観光客の獲得をめざします。例えば、甘楽町（群馬県）、酒田市（山形県）などの友好都市交流協定を締結している自治体や、深谷市など渋沢栄一とゆかりのある地域、鉄道・高速バスなどでつながる地域など、多様なつながりを活かした連携を図っていきます。

《取り組み例》

- ・ 甘楽町、酒田市などの友好都市交流協定を締結している自治体との連携
- ・ 渋沢栄一ゆかりの地との連携
- ・ 交通網を通じたゆかりのある地域との連携 など

戦略 4-3 産業と観光をつなぐ

施策① 商業による北区観光の魅力向上

北区には、多くの魅力的な商店街があり、日用品や食などの小売店がにぎわいを見せています。例えば、こうした北区の日常的な魅力を商店街グルメツアーの実施などでアピールしていくことで、北区観光の魅力向上につなげていく取り組みを進めます。

《取り組み例》

- ・まちバルや商店街つまみ食いつアーの実施
- ・SNS等を活用した商店街まちさんぽイベントの実施 など

施策② ものづくりによる北区観光の魅力向上

北区には、和菓子やたわし、洋傘など、有名企業のほか、ユニークなものづくり会社がたくさんあります。また、江戸べっ甲、江戸文字風絵、とんぼ玉など多くの伝統工芸品があります。ものづくり工場見学ツアーの実施、伝統工芸の体験・PR など、北区ならではのものづくりをアピールし、北区観光の魅力向上につなげていく取り組みを進めます。

《取り組み例》

- ・北区ものづくり工場見学ツアーの実施
- ・伝統工芸の体験・PR など

施策③ 食による北区観光の魅力向上

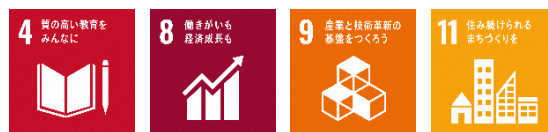
北区には、区民の台所となっている商店街や赤羽に代表される飲み屋街など多くの食の魅力が存在します。複数の飲食店を一度に巡ることができるまちなかバルなどのイベントの実施や飲食店マップの作成など、北区の食文化の魅力をアピールし、北区観光の魅力向上を図る取り組みを進めます。

《取り組み例》

- ・飲食店マップの制作
- ・パンマルシェの実施
- ・地域みやげの開発 など

〔基本戦略 5〕 情報発信の強化による観光の推進

— 人の気を惹く北区観光の発信力を高める



戦略 5-1 訴求力のあるコンテンツの充実と

効果的なプロモーションを推進する

施策① 区民向けの観光プロモーションの展開

多様なテーマでの観光事業の展開や勉強会、区民向けのツアーなど身近な場面で区民が北区観光に触れる機会を拡充し、観光に対する意識や理解を高めるとともに、北区へのシビックプライド※の醸成を図ります。

また、区民が活躍できる観光を展開することで、北区観光の担い手づくりにつながる仕組みの構築を目指します。

《取り組み例》

- ・ 区民向けのまちブラやお宝再発見の機会創出
- ・ 区民が参画できる観光事業の展開と仕組みづくり など

※「シビックプライド」は株式会社読売広告社の登録商標です。

施策② ターゲットを絞った観光プロモーションの展開

北区外からの来訪者となるリピーターやファンなどに対して、それぞれの属性や嗜好などを踏まえてターゲットを絞り、効果的な観光プロモーションを展開します。

例えば、しぶさわくんキャラクターを活用した SNS での情報発信や、北区での暮らしやライフスタイルを想起させるプロモーションなど、訴求するターゲットごとに情報や手法を変えながらプロモーションをしていきます。

《取り組み例》

- ・ しぶさわくんキャラクターを活用した SNS での情報発信
- ・ 北区での暮らしやライフスタイルを想起させるプロモーション など



東京北区渋沢栄一プロジェクト
広報キャラクター しぶさわくん



施策③ 多様な媒体を活用したプロモーションの展開

デジタル化の進展に伴い、ホームページのほか SNS など多様な媒体を活用したプロモーションを実施します。

加えて、既存の北区アンバサダーに加え、観光に特化した北区観光大使などの仕組みを検討し、効果的なプロモーションを進めます。

また、北区ファンなどによるコミュニティや区内のメディア、さらには事業者間の連携を通じた情報共有やコミュニケーションなどを含めたプロモーションの仕組みづくりを進めます。

《取り組み例》

- ・ オンラインや SNS を活用したプロモーション
- ・ 北区アンバサダーを通じたプロモーション
- ・ 観光大使の仕組みづくりと運用 など

戦略 5-2 北区観光の情報発信力を強化する

施策① 一元的な情報の発信

北区内の観光情報を収集し、観光マップやパンフレットなどに整理したうえで、インターネットの観光ポータルサイトの魅力を高めていく取り組みを進めていきます。また、観光に関する取り組みを行っている関連機関や団体の情報についても、統合して一元的に情報発信ができる情報のプラットフォームの仕組みづくりを進めます。

観光マップについては、一元的に情報発信できるよう、テーマごとの情報を束ねた統一化やシリーズ化を図ります。

《取り組み例》

- ・(一社)東京北区観光協会のホームページを活用した情報集約とプラットフォームづくり
- ・観光ポータルサイトの魅力向上
- ・観光マップの統一化やシリーズ化 など

施策② 情報発信拠点の充実

来訪者の玄関口となる主要交通拠点における、観光案内所の開設や既存のまちなか案内処の案内機能の充実など、来訪者に対して幅広い観光情報の提供が行えるよう、情報発信拠点の拡充を図っていきます。

《取り組み例》

- ・観光案内所の機能向上と魅力づけ
- ・商店街や飲食店、事業所などと連携した情報発信機能の充実 など

施策③ 相乗効果を高める情報発信

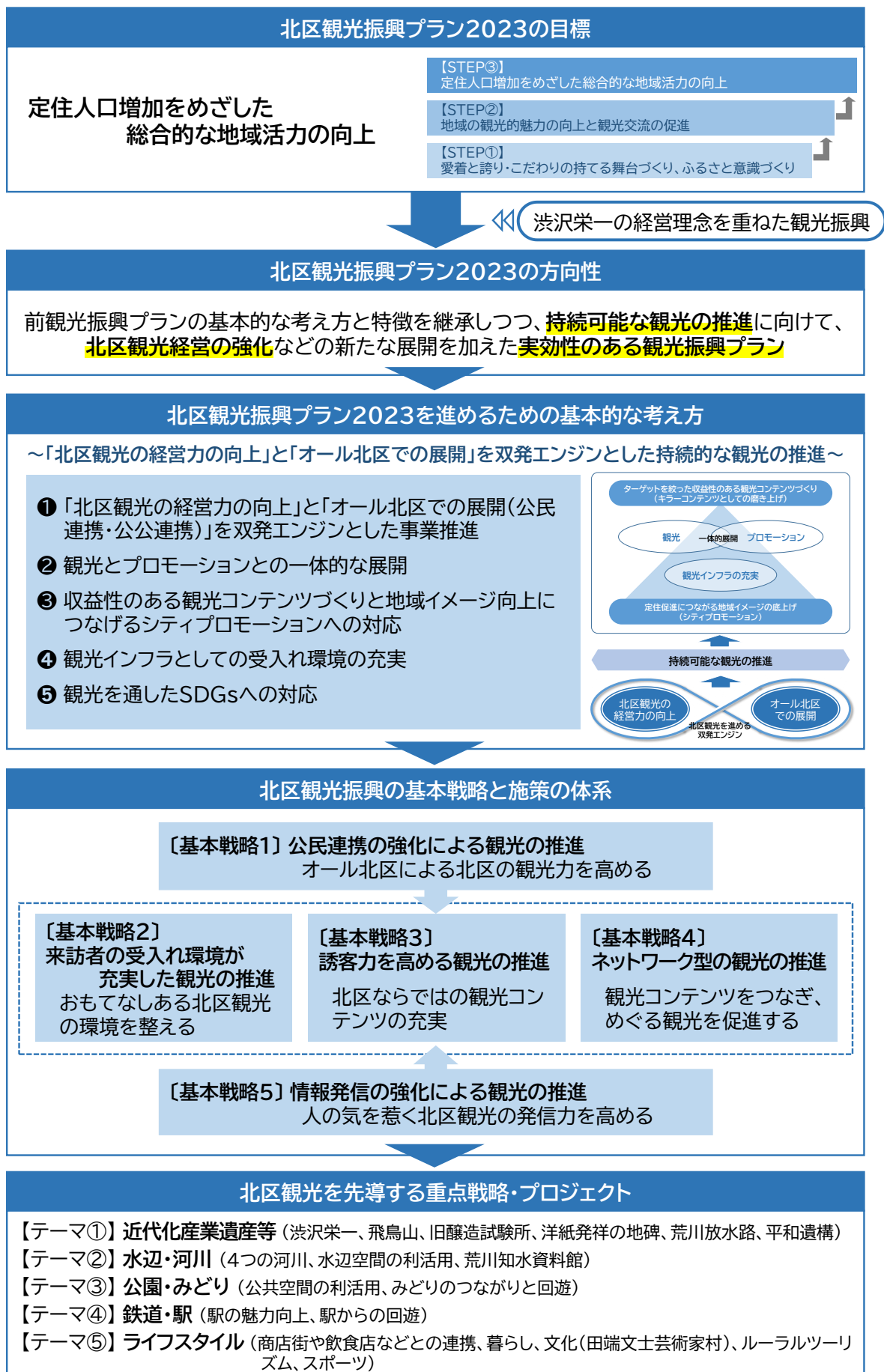
行政や観光関連事業者のみならず、北区ファンなどによるコミュニティや区内のメディアなどと連携した効果的な情報発信の仕組みづくりを行います。

また、事業者間が連携した情報共有やコミュニケーションを通して、相乗効果を高めた情報発信を図ります。

《取り組み例》

- ・北区ファンコミュニティやメディアと連携した仕組みづくり
- ・事業者間の情報共有による相互の情報発信 など

《北区観光振興プラン 2023 の目標と基本戦略の構成》



第5章 北区観光を先導する重点戦略・プロジェクト

1. 重点戦略・プロジェクトの設定

北区内にはさまざまな資源や魅力が存在しています。特に、2024年の新紙幣の顔となる渋沢栄一や洋紙発祥の地といわれる歴史、さらには、平和遺構(軍事遺産)も含めた近代化産業遺産、荒川をはじめとする4つの河川やその水辺環境、飛鳥山公園に代表される歴史や自然を感じさせる公園、多様な路線が集まる鉄道と地域の顔となる駅が数多くあるほか、かつて文士たちが集まったコミュニティでの文化、暮らしに根付いた商店街やスポーツなどライフスタイルにまつわる観光資源を有しており、これらは北区の特徴的で貴重な観光資源であり、北区観光のテーマとなり得るものです。

北区観光の目指す目標に向けて、北区観光を先導するテーマを見出し、北区観光のイメージ、ブランド力を向上するなど、北区観光を効果的かつ着実に推進していくため、基本戦略に基づきながら、より重点を置いて戦略的・先導的に取り組むテーマを「重点戦略・プロジェクト」として設定します。

北区観光の特徴から、以下の5つの重点戦略・プロジェクトの実施展開を図ることで、北区観光の経営力を高めていきます。

《北区観光を先導する重点テーマ・戦略の設定》

【テーマ①】近代化産業遺産等

(渋沢栄一、飛鳥山、旧醸造試験所、洋紙発祥の地碑、荒川放水路、平和遺構)

重点戦略1 近代化産業遺産等を活用した観光の推進

【テーマ②】水辺・河川

(4つの河川、水辺空間の利活用、荒川知水資料館)

重点戦略2 水辺を活用した観光コンテンツの充実

【テーマ③】公園・みどり

(公共空間の利活用、みどりのつながりと回遊)

重点戦略3 公園やみどりの観光的活用の展開

【テーマ④】鉄道・駅

(駅の魅力向上、駅からの回遊)

重点戦略4 鉄道や駅を核とした回遊の推進

【テーマ⑤】ライフスタイル

(商店街・飲食店などとの連携、暮らし、文化(田端文士芸術家村)、
ルーラルツーリズム※、スポーツ)

重点戦略5 ライフスタイルが魅力となる観光の推進

※ルーラルツーリズム：暮らしの中の身近な自然環境などの地域資源を活用して余暇活動を行うアーバンツーリズムの対語となる取り組み



2.5 つの重点戦略・プロジェクト

重点戦略 1

近代化産業遺産等を活用した観光の推進

北区には、北区飛鳥山を時代の「始動」の拠点とした渋沢栄一は関連した日本の近代化を支えた産業遺産のほか、旧醸造試験所第一工場や洋紙発祥の地といわれる歴史、東京を水害から守り続けている荒川放水路の旧岩淵水門（赤水門）などの歴史遺産や産業遺産があります。

また、軍用地の標石や造兵廠跡などの戦争当時の面影を残す史跡も随所に見ることができ、これらは北区ならではの特徴的な観光資源であり、北区観光を推進していく上で重要な要素となっています。

これら「近代資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一の偉業や功績と、北区に残る価値の高い近代化産業遺産を活用し、様々な関係機関と連携した観光事業を推進します。

《具体的な取り組み》

○渋沢栄一をテーマとした観光の推進

- ・ 渋沢栄一の人生を描いた大河ドラマ館のレガシーを継承した、公民連携による「東京北区渋沢栄一プロジェクト」の継続展開
- ・ 大河ドラマ館のレガシーを継承したイベントの開催
- ・ しぶさわくんのキャラクターの活用 など

○近代化産業遺産関連施設の観光活用の推進

- ・ 近代化産業遺産を活用したプログラムの実施
- ・ 洋紙発祥の地といわれる歴史のPRの実施
- ・ 荒川知水資料館や旧岩淵水門の観光拠点化による水辺空間のエリアマネジメント
- ・ 赤レンガフェスなど旧醸造試験所第一工場を活用したユニークベニュー※やイベントの開催 など

○平和遺構(軍事遺産)の観光活用の推進

- ・ 平和遺構（軍事遺産）を巡る観光ガイドツアーの実施 など

※ユニークベニュー：歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。



北区は、荒川と隅田川、石神井川、新河岸川の4つの河川に恵まれており、それぞれが豊かな水辺環境を形成しています。これらの水辺空間は、ウォーキングやサイクリングなどの区民の身近なレクリエーションの空間となっています。また、荒川河川敷のオープン空間は、バーベキュー場や花火会の開催などの観光コンテンツに加え、荒川の自然を観察できる「北区・子どもの水辺」や季節に応じて芝桜や花菖蒲を観ることができる場所があり、水辺に親しむことや自然環境を学ぶことができます。

都市空間から身近にある自然豊かな水辺を活用したイベントなどを通して観光コンテンツを充実させるとともに、水辺をオープン空間として活用促進し、観光拠点の価値を向上させていきます。

《具体的な取り組み》

○水辺を活用した身近なレクリエーションの促進

- ・音無親水公園のライトアップの実施
- ・音無親水公園川床イベントの開催 など

○河川敷の観光活用の充実

- ・荒川河川敷の北区花火会の開催
- ・「北・水辺ウォーク」の開催
- ・ミズベリングによる水辺を活用したイベント（音楽・アウトドア）などの開催
- ・ドローンテストフィールドの社会実験の展開
- ・多様な主体による荒川知水資料館周辺や岩淵水門周辺のオープン化と活用促進 など

○河川の観光拠点としての活用や観光ルート化

- ・荒川知水資料館を核としたエリア一体の観光拠点としての活用
- ・荒川ロックゲート乗船体験と岩淵水門の観光ルートづくり
- ・防災の価値や機能をテーマにした荒川知水資料館や旧岩淵水門のツアーの実施 など



北区には、渋沢栄一ゆかりの飛鳥山公園や音無親水公園、広大な敷地を有する都立浮間公園など身近に自然やみどりを感じることができる公園が点在しています。また、旧古河庭園などの季節の花が美しい庭園もあります。

このように都市的生活をする中で身近に非日常体験ができる公園やみどりは、北区の特徴の一つと言えます。

これら飛鳥山公園など拠点性が高い公園を積極的に観光利用することで、公園という拠点環境の利用価値の向上と魅力づくりを推進します。

《具体的な取り組み》

○飛鳥山公園を活用した観光の推進

- ・大河ドラマ館のレガシーを継承したイベントの開催
- ・「渋沢翁のテーマパーク」化の展開
- ・食や音楽をテーマとしたフェスの開催
- ・旧渋沢庭園を活用したイベントの実施 など

○公園をつなぐ回遊観光の展開

- ・音無親水公園のライトアップの実施
- ・「桜ウォーク」の開催
- ・公園を核とした周辺の回遊につながるガイドツアーの実施 など

○公民連携による公園の観光利用の展開

- ・Park-PFI を通した観光活用の取り組みの展開
- ・民間事業者や団体などが公園を観光活用しやすくなる仕組みづくり など



北区には、東京新幹線車両センター（田端）や尾久車両センターが立地しており、周辺に鉄道スポットが数多く存在するなど、鉄道ファンにとって人気のスポットとなっています。また、区内には都内で唯一残る路面電車の東京さくらトラム（都電荒川線）が走っています。こうした北区の鉄道及び関連施設は、他の地域にはない北区ならではの特徴的に資源です。

加えて、北区内には 11 の JR 駅が存在し、それぞれの駅でまちの特徴的な顔を見ることができます。

このような北区の特徴的な資源である鉄道や駅を核として、区内のさまざまなエリアでの回遊を推進します。

《具体的な取り組み》

○駅からの回遊観光コンテンツの充実

- ・ 駅を核とした観光ガイドツアーの実施
- ・ 駅を核としたマップの制作と発信
- ・ 駅と連携したイベント（「玉子駅」フェスなど）の開催
- ・ JR 王子駅中央口壁面装飾を活用した情報発信 など

○東京さくらトラム(都電荒川線)の観光活用の推進

- ・ 沿線 4 区や東京都交通局との連携による東京さくらトラムをテーマにしたプログラムの実施 など

○鉄道にフォーカスした情報発信とファン獲得

- ・ 鉄道情報のライブ配信 など



北区の特徴として、商店街や下町情緒、レトロ感など地域に根付いたまちの暮らしぶりやライフスタイルが一つの特徴になっています。

一方、かつて田端文士芸術家村には芥川龍之介を筆頭として多くの文士が集まり、生活していた“ハイソ”な暮らしは当時の特徴的な文化でした。

また、新型コロナウイルス感染症等の影響により身近な場所の観光的価値が見直されている中、都市的生活を送りながら、公園などで身近に非日常的な体験ができることも、北区ならではのライフスタイルと言えます。

加えて、トップアスリートに触れることができる環境があることも北区の特徴の一つでもあります。

こうした文化や、商店街や公園、トップアスリートが身近に活躍するスポーツ環境といった北区ならではのライフスタイルを楽しめる観光を推進します。

《具体的な取り組み》

○商店街をテーマとした回遊観光コンテンツの充実

- ・商店街を回遊する体験プログラムの展開
- ・銭湯などの観光資源のPRの実施
- ・まちバルイベントの開催 など

○暮らしや文化・スポーツをテーマにした回遊観光コンテンツの充実

- ・文士の歴史と“ハイソ”な暮らしぶりを体験するガイドツアーの実施
- ・(仮称)芥川龍之介記念館を核とした文化観光PRの実施
- ・スポーツイベントと連携した集客や回遊事業の展開 など

○身近な公園や河川を楽しむ観光スタイルの推進

- ・公園や河川を拠点としたマルシェやマーケットの開催
- ・ピクニックがしやすい環境づくり など



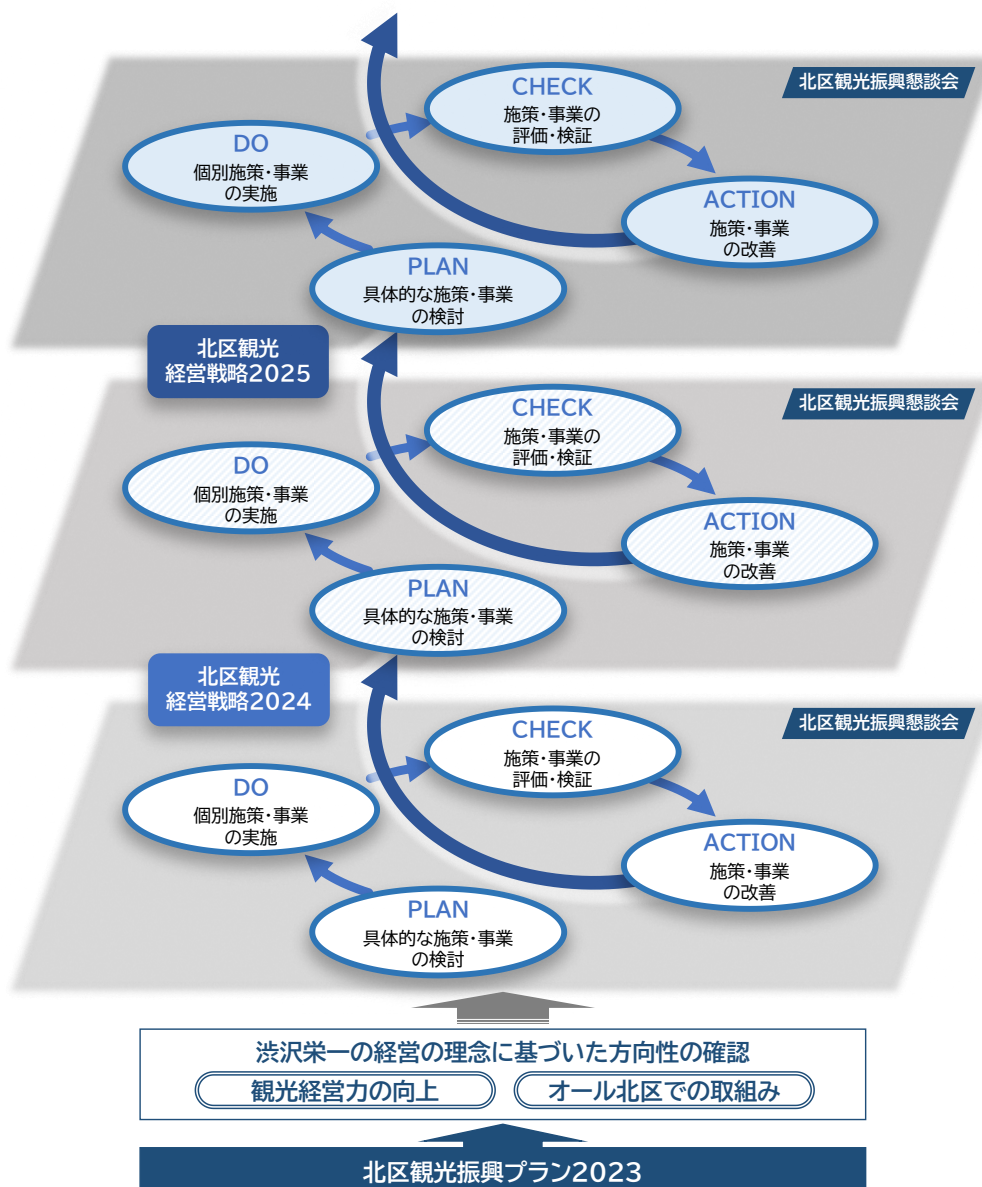
第9回北区観光写真コンテスト
観光協会賞
赤羽一番街商店街はお昼も賑わう

第6章 北区観光の推進・展開に向けて

1. 北区観光の進むべき方向性の明確化

本プランに基づく観光事業を確実に推進するため、「北区観光振興懇談会」を継続的に開催し、実績にもとづく評価・検証を実施します。

評価・検証においては、渋沢栄一の経営思考に基づいた“北区観光の経営力”と“オール北区”の視点からの評価検証を基本とし、5つの基本戦略に基づく目標値による評価検証と、今後の北区観光の経営戦略につながる提言を行います。この提言を基礎として、本プランの進化と深化につながる方向性を次期の観光力の向上に関する経営戦略として明らかにするとともに、その共有を図りながら実践していきます。大きな社会情勢の変化が生じた際にも、懇談会での評価・検証の仕組みにより、必要な対応を協議するとともに、柔軟に対応していきます。



2. 北区観光を推進するプラットフォームの形成

北区観光の推進に向けては、北区の観光振興をはじめとする商業振興、工業振興、文化芸術振興、近代化産業遺産、都市基盤整備、さらにはシティプロモーションなどのさまざまな分野の施策や事業を、「観光」を核とした総合的な地域づくりの視点に立ち、相互連携を図りながら取り組んでいく必要があります。

そこで、(一社)東京北区観光協会が中核を担うことで様々な主体同士の結集を図り、観光施設や観光に関連する事業者、観光ボランティアガイドの会、区民などの多様な主体による北区観光をより推し進めていくためのプラットフォームの仕組みづくりを進めます。

多様な主体の連携機能を有するプラットフォームでは、北区観光に関わる主体の情報の共有を図るとともに、区内外のファンやサポーターを取り込みながら、北区観光の担い手となる人づくりに取り組みます。また、北区も主体的に観光振興事業に取り組むとともに、公民連携・公公連携を推進することで、プラットフォームの連携・コーディネート機能の強化を図っていきます。

《北区観光を推進するプラットフォームの形成》

